

会長ご挨拶

インターネット環境に代表される情報通信技術がグローバルスケールに普及し、すべての社会・産業活動の基盤としての役割を果たさなければならなくなりました。

私たちの日常生活において、多種多様な形態でICT基盤を活用することが一般化し、ICTの存在は私たちの意識の中で、そして、社会の中で透明化しつつあると言えるでしょう。

すなわちICTは、もはや社会にとって、そして、産業にとって必要不可欠な社会インフラとなっています。

その一方で、社会に不可欠なICTの利用に対する体系的で実践的な教育カリキュラムが存在していないことから、ICTに対する関心度が薄れ、知識不足のまま、安全性への思慮が不足したままで、ICT基盤を利用している利用者は、増加しつつあります。我が国のICT基盤の整備と発展を支えるべき人材の供給は、その質と量の両面において需要を大きく下回っている状況であると言わざるを得ません。

更に、今後の情報通信技術の研究開発をし、実用に資するシステムを設計・構築・運用するために不可欠な人材の育成も十分な状況にないことは明かです。 ICTの利用者およびICT技術者の教育現場では、さまざま問題を抱えており、その問題を我々が力を合わせて解決し、社会への責任を果たさなければなりません。

私たちは、このような社会情勢において、今後、安全で信頼できる安定した情報通信ネットワークと技術基盤を維持するとともに、継続的な発展を実現するための人材育成のあり方と教育方法を提言し、教育現場における教育者の育成と、教育実践を支援することを目的として、ICT教育推進協議会(ICT Education Promotion Council of Japan)を設立いたしました。

本協議会の活動に賛同し、ご貢献いただく方々と協力して、我が国の産業競争力の向上と社会生活の品質向上、そして、安心・安全な社会・産業活動を支えるICT基盤の確立に貢献する教育システムの確立に少なからぬ貢献を行うことを目指します。

関係各位のご賛同・ご高配、ならびにご協力・ご鞭撻・ご指導をお願いするものでございます。



ICT教育推進協議会
会長 江崎 浩

運営委員会・監事・顧問

会長： 江崎 浩 （東京大学）

監事： 大道 英城 （株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構）

委員： 赤澤 秀樹(モバイルコンピューティング推進コンソーシアム)

顧問： 佐藤 元嗣 （有限会社イークラフト）

伊勢 幸一(さくらインターネット株式会社)

吉田 真 （東京大学）

小野寺 好広(シスコシステムズ合同会社)

北原 聡(麻生情報ビジネス専門学校)

木下 稔雅(日本電子専門学校)

下條 真司(大阪大学サイバメディアセンター)

入会のご案内

ICT教育推進協議会では、ICT教育に携わる様々な企業・団体・教育機関などにご参加頂くことにより、同じ目的を持つ諸機関の連携を図って行きたいと考えております。当協議会では、以下の通り会員を募集いたしております。

●正会員：当協議会の目的に賛同し、運営委員会の承認を受けた、当協議会の活動を助成する企業等の組織体とします。

入会費は無料、年会費は、1口10万円です。

●準会員：当協議会の目的に賛同し、運営委員会の承認を受けた学校法人、国立大学法人、公益法人等の非営利の法人、団体ないし個人とします

（希望により賛助会員として入会することも可能です）。

入会費は無料・年会費は無料とします。

お問い合わせ・ご入会お申し込み先

ICT教育推進協議会(ICTEPC)事務局

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学大学院情報理工学系研究科江崎研究室内

Email: info@ictepc.jp URL: <http://ictepc.jp/> Tel: 03-5841-7465 Fax: 03-5841-7465



ICTEPC
ICT Education Promotion
Council of Japan

ICT 教育推進協議会

私たちは、安心で、安全な
社会と産業を支える教育システム
造りを目指しています。

ICT教育推進協議会とは

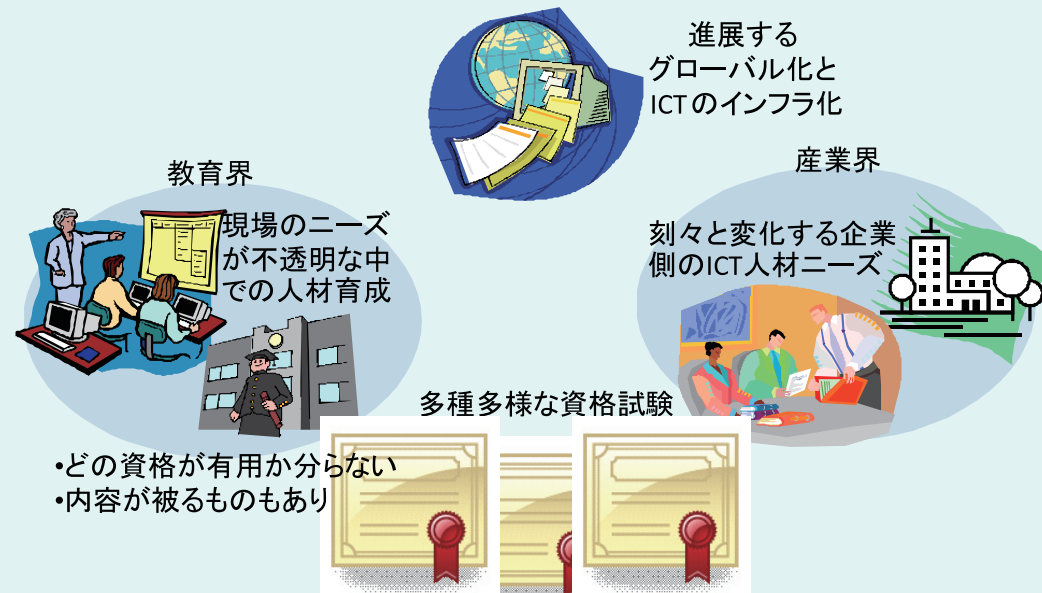
ICT教育推進協議会は、進展するグローバル化と情報通信技術（ICT）のインフラ化の中で、産業界と教育界の間の人材の需給のミスマッチが深刻化している現状をふまえ、ICT教育に携わる先生方が社会のニーズにマッチした人材を輩出していくための一助となるような活動を行っていくことを目的として、平成22年4月1日に発足しました。

当協議会は、人材の受け皿となる産業界と、人材を育成する教育界の橋渡し役となり、交流の場を提供していきます。また、様々な資格試験の

実施団体間の連携を深め、オールジャパンの教育コンテンツの集積を目指します。

そして、グローバル環境（留学生対応、グローバル人材育成）への対応、急速に進展するICTのインフラ化に対応可能な環境の整備と確立に資する活動を行っていきます。

ICT業界を取り巻く現状



ICT教育推進協議会が目指すこと



目的と活動内容

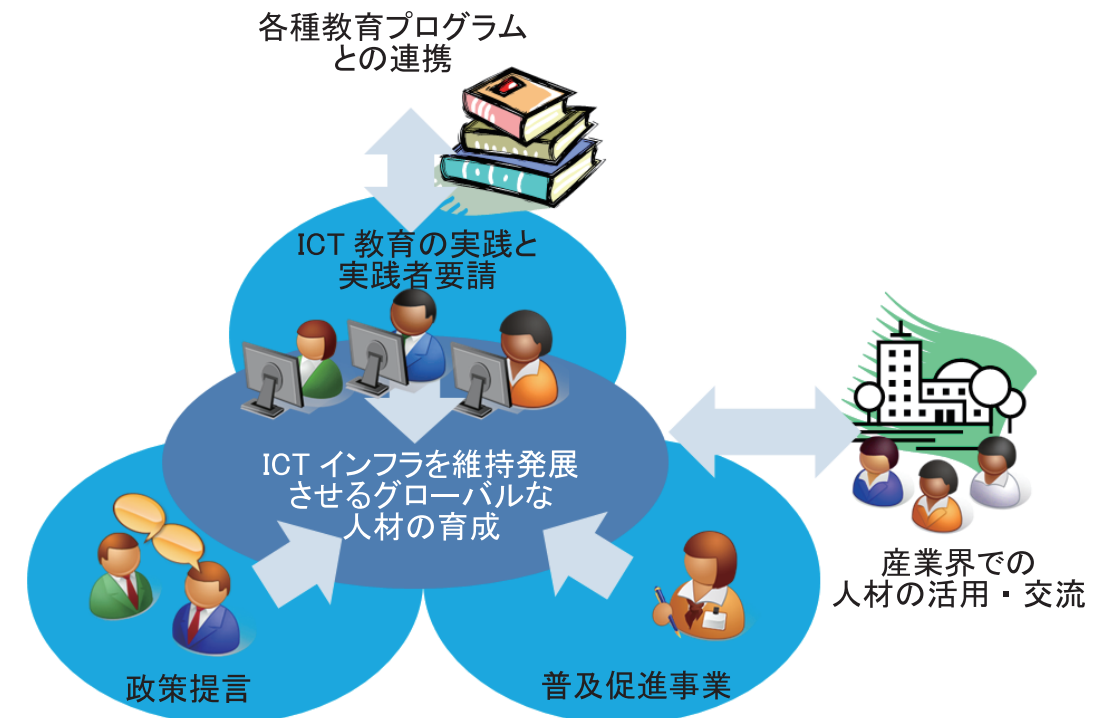
当協議会は、安全で信頼できる安定した情報・通信ネットワークと、これらのICT技術基盤を維持し、発展させていくための人材教育のあり方と教育方法を提言し、教育現場における教育者の育成と発展の実践を支援することを目的としています。

具体的には、以下のような柱で活動していきます。

- (1) ICT教育の普及促進に係る諸事業の企画、立案および実施
- (2) ICT教育に携わる、国内外の高等教育機関等におけるICT教育の実践、実践者養成および広報活動
- (3) 初等中等教育におけるICT教育の実践、および実践者養成
- (4) ICT教育の普及推進に向けた政策提言活動
- (5) その他、協議会の目的を達成するために必要な活動

活動開始時の主な対象としては、国内外の高等教育機関が挙げられますが、インターネットリテラシーの向上のためには、よりターゲットを若年層にも広げていく必要があります。このため、当協議会では初等中等教育におけるICT教育の実践や実践者の養成にも力を入れて参ります。また、高等教育機関や初等中等教育での教育プログラムは、各種の教育プログラムとの連携を模索していきます。

こうした活動を通じ、ICTインフラを維持発展させるグローバルな人材の育成を目指します。育成された人材は、産業界での活躍や活発な相互交流が期待されます。



分科会(WG)

ICT教育分野の緊急性の高い課題や、関心の高いトピックについて、分科会（WG）を設置し、会員の皆様に、得意分野・興味のある分野のWGに自由にご参加いただいております。WGは順次増設していく予定です。

WGにはそれぞれ1名以上の主査を置き、産学のその分野に興味のある方々が年に数回集まる機会を持ち、自由で活発な意見交換を行います。

活動の結果は、当協議会に還元され、様々な教育コンテンツの開発や政策提言などに繋がっていきます。